

箕輪町 DX 推進方針

Well-being ～より良い未来へ～

2022 年 3 月 箕輪町

はじめに

近年の急速な情報通信技術（ICT）の発展や人口減少・少子高齢化などの社会情勢の変化がおこる中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、新しい生活様式の実践や行政分野におけるデジタル化の遅れが課題となりました。

デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができる町、DX による利益を全町民が受けることが出来る、誰一人取り残さない人に優しい町民目線の行政の実現と、町の活力につながる地域 DX を推進するため本方針を策定しました。

より良い未来のまちづくりのため、一歩ずつ着実に進めてまいります。

背景

【社会情勢の変化】

- ・人口減少時代を見据えた行政経営
→スマート自治体への転換
- ・ICTの急速な発展
→ヒトやモノのつながりが一層深まり社会全体におけるデジタル利用が一般化

【国の動向】

- ・新しい社会の姿「Society5.0」の提唱
- ・官民データ活用推進基本法（平成 28 年 12 月 7 日）
- ・デジタル・ガバメント実行計画及び自治体 DX 推進計画（令和 2 年 12 月 25 日）
- ・デジタル庁の創設（令和 3 年 9 月 1 日）

【県の動向】

- ・『長野県 DX 戦略』策定（令和 2 年 7 月 21 日）
「スマートハイランド推進プログラム」「信州 IT バレー構想」の 2 本柱
- ・DX 推進課設置（令和 3 年 4 月 1 日）

基本方針

- デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上
 - ・ 予約や届け出の電子（オンライン）申請推進、窓口手続きの簡素化
 - ・ 誰もがデジタルの恩恵を享受できる環境整備（デジタルデバインド対策）

- 業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上へ
 - ・ 業務の「見える化」の推進
 - ・ ペーパーレスの推進
 - ・ 部署に囚われない全体を見た業務の最適化
 - ・ 職員のICTリテラシー（スキル）研修、当事者意識の向上

- 地域DXの推進によるまちの賑わい創出
 - ・ 商工業や農林業などスマート化支援
 - ・ キャッシュレス決済など異なる複数のサービス連携の検討
 - ・ デジタル人材の育成

- 時間と空間の制約を受けない新しい学び
 - ・ 時間と空間の制約を受けず、学びに参加できる生涯学習の場
 - ・ 誰もが学べるデジタルコンテンツの充実

2025年までに目指す姿

—行政手続きに手間をとらせず、住民の皆さんの時間を大切に—
手続きのために役場へ来るなどの時間や労力を減らし、役場の業務の効率化も図ること
で、より良い行政サービスへとつなげます。

推進体制

- ・ 部署を越えた横断的に協調する組織体制
- ・ プロジェクトチーム、ワーキンググループの設置
- ・ 外部アドバイザーの活用

位置づけ

- ・ 2016（平成28）年度策定の「箕輪町第5次振興計画」を上位計画とします。
- ・ 官民データ活用推進基本法第9条第3項により市町村に策定の努力義務が課されている「市町村官民データ活用推進計画」としても位置付けます。

推進方針の見直し

社会情勢や技術動向等の急速な変化を反映し、随時見直しを行うものとします。